

扶桑薬品工業と患者団体との 協働に関する指針



扶桑薬品工業株式会社

扶桑薬品工業と患者団体との協働に関する指針

平成25年4月1日制定

製薬企業の使命は、優れた医薬品を開発・供給することにより、世界の人々の福祉と医療の向上に貢献し、健康で質の高い生活の実現に寄与する事です。このためには、患者さんの求めるニーズや悩みを理解することが必要となっており、患者団体との積極的かつ継続的な協働の機会が増えてきました。

製薬企業は、患者団体とのあらゆる協働において、高い倫理観を持ち、患者団体の独立性を尊重することや、患者団体との協働の目的と内容について十分に相互理解するよう努めること等が求められています。これらに鑑み、日本製薬工業協会（以下、「製薬協」）は、製薬協と患者団体との協働に関する「患者団体との協働に関する行動指針」及び会員会社と患者団体との協働に関する「患者団体との協働に関するガイドライン」を策定しました。

製薬協の会員たる扶桑薬品工業は、この理念に則り、また、当社経営理念・社是を全うすべく「扶桑薬品工業と患者団体との協働に関する指針」を策定しました。

経営理念

- 一、当社はその事業と規模を利用して社会に貢献し、自らも幸福と生甲斐を得ようとする社会人が結集した運命共有集団である。
- 一、会社の存立も個人の生活も、社会の恩恵なしには維持できない。とくに人の健康と生命に密接に関与する医薬をつくる企業には、それにふさわしい倫理が求められ、これを踏みはずさないもののみが繁栄を持続し得るのである。
- 一、当社は、製薬企業の本分を尽すとともに、社内の平安を旨とし、挙社一体の企業努力により社会に貢献、また全従業員の負託にこたえんとするものである。

社是

- 社会寄与につながる経営方針
- 挙社一体の企業努力
- 先憂後楽、深謀果断
- 患不均、以和為貴（均しからざるを憂い、和をもって貴しとなす）
- 充実し生甲斐のある生活の確保

(1) 相互理解

我々は、患者団体との協働を、それぞれの見解や判断を尊重した相互理解のもとに行います。

(2) 信頼関係の構築

我々は、患者団体と対等な関係で信頼関係を構築し、共通の目的の実現に向けてそれぞれの役割を果たします。

(3) 患者団体の独立性の尊重

我々は、患者団体の独立性を尊重します。

(4) 透明性の確保

我々は、金銭的支援等についてその情報を公開し、透明性を確保します。

(5) 書面による合意

我々は、患者団体との協働における活動項目や資金提供等については、その目的・内容等について、書面による合意を交わし、記録に残します。

(6) 製品の広告・宣伝の禁止

我々は、患者団体に対し、医療用医薬品の広告・宣伝を行いません。

(7) 影響力行使の禁止

我々は、患者団体に対し、企業の利益の為に患者団体の出版物の内容、発言等に影響力を行使することは行いません。

(8) 資金源の多様性の推奨

我々は、単独の支援者となることを条件とする支援は行いません。患者団体が活動のための資金を複数の提供元から調達することを推奨します。

(9) 適正な支援

我々は、患者団体に対する支援に当たってはその目的に相応しい会場及び開催地とする等、適正に支援を行います。

以上

用語の解説

【患者団体】

患者・家族、その支援者が主体となって構成され、患者の声を代表し、患者・家族を支えあうとともに、療養環境の改善を目指し、原則として、定款・会則により定義された役割や目的を持つ患者会及び患者支援団体とする。

【金銭的支援等】

「扶桑薬品工業と患者団体との関係の透明性に関する指針」における公開対象を指す。

【患者団体との協働】

患者団体との交流、支援からの共有の課題解決を目指す活動まで幅広い範囲とする。